

平成26年度 第1回 山形県保健医療推進協議会  
山形県庁 1001会議室 平成26年9月30日

# 県医師会の今後の方針

～とくに県との協調にむけて～

山形県医師会 副会長 中目 千之

# 国の大きな方針

---

## 1. 地域医療ビジョン

各地域における人口動態に応じた病床機能の再編

## 2. 新たな財政支援制度

消費増税分の社会保障費充填（新基金）：904億円



各県に配布



県医師会が各地区医師会の事業計画を集約して県と交渉

---



---

地区医師会：地域医療の主体



県医師会：地区医師会の意見・要望を集約



- ・地区医師会と密なる連携
- ・**県医師会と地区医師会長との連絡会議**  
**(8月30日、31日)：一泊二日**



「県と県医師会の実りある交渉・協議」

---



---

# 「県と県医師会の顔の見える良好な関係」の構築が求められる時代



# 県との協議事項

---

## 1、地域医療ビジョン

①各地区医師会へ「**地域医療ビジョン検討委員会**」の設置を提唱。

→ ・グランドデザイン（医療・介護資源の再配分）  
の構築

・ J-MAP の活用（日本医師会HP）

②グランドデザインの中で、病床機能の検討は論じられるべき。



# 県との協議事項

---

## 1、地域医療ビジョン

＝情報を会員へ迅速に正確に伝達する＝

講演：「医療法改正により何が変わり何をすべきか  
～地域医療ビジョン、新たな財政支援制度、  
医師確保等～」

演者： 厚生労働省 医政局 佐々木 昌弘 先生

対象： 病院長

場所： 山形市

日時： 8月4日

---



# 山形県医師会と山形県病院協議会との懇談会 (平成26年8月4日)



# 県との協議事項

---

## 2、新たな財政支援制度

### ①これまでの経過：

- ・ 県との協議（3月、6月）
- ・ 関係団体打ち合わせ会（7月）
- ・ 厚労省ヒアリング（7月）

### ②今後の予定：

- ・ 9月：国への事業計画の提出
- ・ 10月：国からの交付額の内示
- ・ 11月：国からの交付金の交付
- ・ 12月：県議会へ提案（議決）

### ③内訳：

- 1, 病床の機能分化、連携のための必要な事業：1.4億円
  - 2, 在宅医療・介護サービスの充実のために必要な事業：4.3億円
  - 3, 医療従事者等の確保・養成のための事業：5.1億円
- 





---

# 「県と県医師会の顔の見える良好な関係」の構築が求められる時代



今後、大幅な権限と財源が県に委譲される



県医師会が県と協調して主体的に医療計画を作成

---

